



【NEWS RELEASE】

2012年2月7日(火)
六本木アートナイト実行委員会

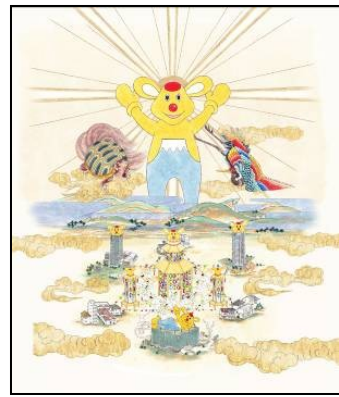
～ アートでつくろう、日本の元気 ～ 「六本木アートナイト2012」

六本木のあちこちに、草間彌生の作品が出現！更にクサマカフェも登場！
プログラム内容がついに決定！

2012年3月24日(土)10:00 ～ 3月25日(日)18:00
コアタイム：日没(17:56)から日の出(5:38)まで



Yayoi-chan, Ring-Ring
©YAYOI KUSAMA
新作イメージ画像



Antenna《六本木伝承2012》2012年

東京都と東京都歴史文化財団が行っている東京文化発信プロジェクトの一環として、「六本木アートナイト2012」を、2012年3月24日(土)10時から、3月25日(日)18時までオールナイトで開催いたします。

六本木アートナイトは六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。六本木の街に、アート作品のみならず、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、六本木エリア全体を多様なアートで埋め尽くします。来場した方に、普段とは違う六本木を感じる非日常的な体験を提供します。

2009年から始まり、第3回目となる六本木アートナイト2012のテーマは「アートでつくろう、日本の元気」です。このテーマのもとに、国内外様々なアーティストが作品を展開する予定です。例年よりメッセージ性の強い作品や、元気を与えるような作品が登場します。

六本木の広域で展開するプログラムとして、前衛芸術家の草間彌生さんによる《愛はとこしえ、未来は私のもの！(仮)》、京都を拠点に活動する気鋭のアーティスト「Antenna」による祭りをモチーフにしたインスタレーション《六本木伝承2012》、せんだいメディアテークと山形の東北芸術工科大学、トーキョーワンダーサイトなどの機関が協同で企画した震災復興支援プロジェクト《Roppongi Agora》の実施が決定いたしました。

草間彌生さんは、バルーンを用いた全長13mの新作「ヤヨイちゃん」「リンリン」をお披露目する他、ドットに彩られた「クサマカフェ」(仮)も登場し、多彩な作品が六本木の街に出現し、六本木が草間ワールドに彩られます。

他にも、「Antenna」は、ユニークなキャラクター「ジャッピー」をモチーフに御輿や、お堂など祭りに関わる日本の伝統文化を表現します。

《Roppongi Agora》では、“被災地と六本木”や“人々の想い”をつなぐ作品が多数登場予定です。“よぶね”に、想いをイメージした灯りをともしプロジェクトなど、震災を受け止め、その先を見据えるための多様な表現が六本木の宵に集まります。

2年越しの開催となる六本木アートナイト2012に、是非ご期待ください。※情報は随時ウェブサイトにてアップ致します。

報道関係の皆様のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当: 山下、澤井、山本、今井

TEL: 03-6894-3200 / FAX: 03-5413-3050 / MAIL: r-artnight@ssu.co.jp

草間彌生《愛はとこしえ、未来は私のもの！（仮）》

六本木のあちらこちらに、草間彌生の作品が出現します！
大型の新作プロジェクトをはじめ、草間を象徴するドット（水玉）の
作品などから、草間の平和と希望へのメッセージを感じてください。

展開作品例：

- ・《ヤヨイちゃん》《リンリン》（新作、六本木アートナイト2011年委嘱作品）
- ・《命の足跡》
- ・クサマカフェ（仮） 六本木交差点アマンド、東京ミッドタウンorangé（予定）



Yayoi-chan, Ring-Ring
©YAYOI KUSAMA
新作イメージ画像

展開場所：六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館、他（予定）



©Yayoi Kusama

草間彌生プロフィール

前衛芸術家、小説家。

幼少より水玉と網目を用いた幻想的な絵画を制作。

1957年 単身渡米、独創的な作品と活動はアート界に衝撃を与え前衛芸術家としての地位を築く。帰国後も全世界を舞台に活躍中。小説、詩集なども多数発表。

1983年、小説「クリストファー男娼窟」で第10回野性時代新人文学賞受賞。

そのほか、第50回芸術選奨文部大臣賞(2000年)、朝日賞(2001年)、第18回 高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門受賞(2006年)など受賞多数。2009年文化功労者に顕彰される。

2011年から2012年にかけて欧米主要美術館で回顧展巡回中。また2012年年頭より大阪から国内巡回展もスタート。

Antenna《六本木伝承2012》

京都を拠点に活動する気鋭のアーティストAntennaによる、東京ミッドタウンを舞台にした大型インスタレーションプロジェクト。日本をハッピーに、という想いで生み出された《ジャッピー》を中心に、日本の伝統文化から想起された御輿やお堂などをモチーフとした様々な作品の展示、パフォーマンスを展開します。東京ミッドタウンを、世界都市・東京の中心的な「街」に見立て、現代の「まつり」から、日本の「街」が持つ可能性に目を向けて、「日本の元気」、そして新しい時代への入口を創りだします。

展開場所：東京ミッドタウン ビッグキャノピー、芝生広場ほか



Antenna《六本木伝承2012》2012年

Antenna(アンテナ)

2002年結成、京都を拠点に活動するアーティストグループ。

日本の歴史と文化より着想し、多様なメディアを用いて創作活動を行う。

「ジャッピー／JAPPY」というオリジナルキャラクターをモチーフに、日本人にとって普通だとされている物事に目を向け、そこに内在する真理、価値、幸福についてアートを通して問いかけている。

<http://www.antennakyoto.com/>

《Roppongi Agora》

2011年の3月26～27日に予定していた第3回目の六本木アートナイトは、3.11の大震災の影響で中止しました。その後、日本が様変わりしたこの震災を受け、アートに、私たちに、何ができるのかという難しい問いに對峙しながら、今日まで歩んできた人々がいます。

被災地のリアルな視座。被災地の最も近くで支援を続けて見えた課題。もうひとつ外側からの思い。それらが六本木のある一夜に集合することによって、私たちが次に見出すべき視点を考えるきっかけになるかも知れません。

せんだいメディアテーク、山形の東北芸術工科大学、トーキョーワンダーサイトなどの機関と協同で企画したこのプロジェクトでは、様々なアーティストの目線や表現をとおして、3.11後のアートやアクティビティを考え続けるその過程を、そしてその先の未来を、垣間見ます。

現在予定されているプログラムは、

●日比野克彦『とうほくのこよみのよぶね』

石巻と六本木と釜石をつなぎ人々の想いを紡ぎ、灯りを点し、“よぶね”に乗せるプロジェクト

●東北芸術工科大学『六本木^{おー}えんだい』

学生たちが被災地に足を運び続けて実施して来た、地域コミュニティの再構築の光明となるであろう“ともにつくる”という作業を六本木で行うプログラム

●遠藤一郎『未来へ号』

日本列島を黄色い車<未来へ号>で縦断して人々と交流しながら、次への一步をみんなで踏み出すためにある軌跡を描くプロジェクトが、六本木で終結、そしてスタートします。

●深夜教室『ぼくらの未来美術』

3.11後のアートの可能性を追求するアートプロジェクト・プランを学生より公募、選出された提案者のプレゼンテーションと宮島達男、中山ダイスケなど現代美術教授陣によるレビュートーク。

●1年後の今：東日本大震災復興支援活動報告会(仮)

東日本大震災発生から1年余り、震災を体験したり、震災復興支援に関わったりしたアーティストたちが、これまでの1年間の自らの経験、活動などについて語ります。
その他、震災を受け止め、その先を見据えるための多様な表現が六本木の宵に集まります。

展開場所： 六本木ヒルズアリーナ、テレビ朝日umu、東京ミッドタウン(予定)

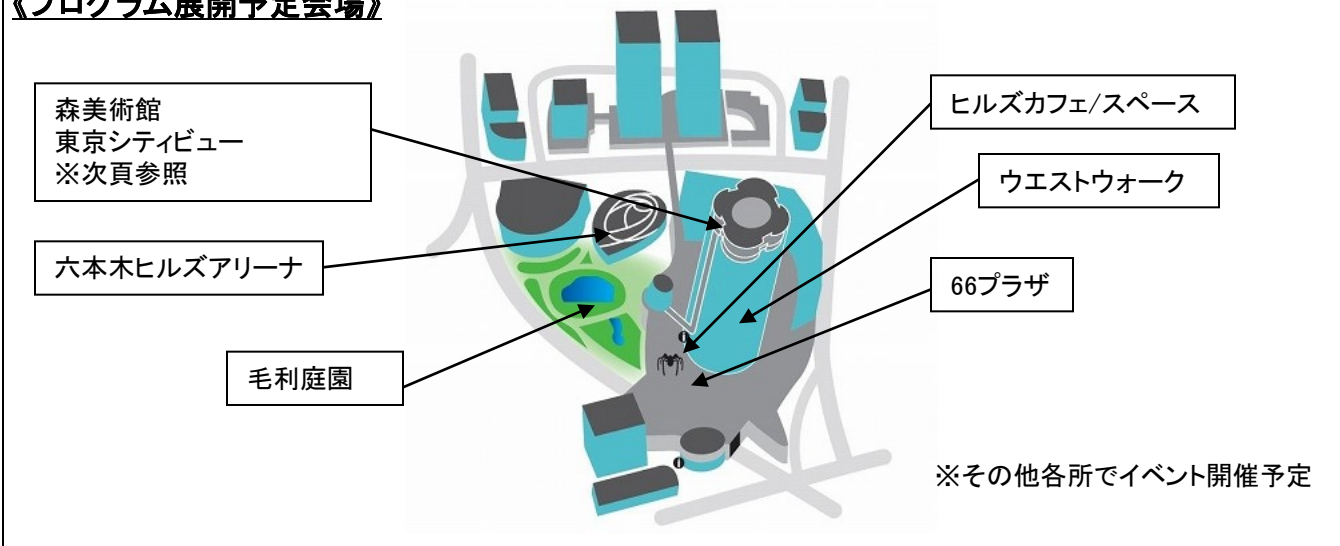
参加作家： 日比野克彦、遠藤一郎、トーチカ、藤井光など(予定)

※その他六本木ヒルズ(→次頁)や東京ミッドタウンでも、東日本大震災関連のプログラムが予定されています。

◆六本木ヒルズプログラム

六本木ヒルズ内の各所に、国内外様々なアーティストによる一夜限りの作品が登場します。大型のインスタレーション作品や、映像を駆使した近未来的な作品など、多彩なインスタレーションにより非日常空間を演出します。発見と驚きの一夜を体験してください。

《プログラム展開予定会場》



《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■大型インスタレーション

＜出展予定作家＞

青木美歌、池田光宏、泉太郎、久野ギル、志村信裕、杉浦久子+suginoco(昭和女子大学)、タムラサトル、津村耕佑+島村安有美+武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 津村ゼミ3年生、ホアン・スー・チエ(50音順)



志村信裕
《赤い靴》
六本木ヒルズの玄関ともいえる66プラザに、不思議な光景が現れます。
場所: 66プラザ



池田光宏
《by the Window "六本木アートナイト2012バージョン"》
お店の窓に幻想的な影絵のドラマが映し出されます。
場所: ル ショコラ ド アッシュ/Bo Concept



ホアン・スー・チエ
《オーガニック・コンセプト》
ビニールをつなげて作った大蛇のような物体が、ユーモラスにむくむく動きます。
場所: ウェストウォーク

■A/Dギャラリー 蜷川実花展覧会「桜」開催

営業時間 12:00～20:00 ※入場料無料

場所 ROPPONGI HILLS A/D GALLERY (森タワー3階 六本木ヒルズ アート & デザインストア 内)

お問い合わせ 03-6406-6875(ROPPONGI HILLS A/D GALLERY)

■東京シティビュー(展望台)のオールナイト開館

3月24日(土)10:00～25日(日)6:00まで開館時間延長

24日(土)24:00～27日(日)6:00までの時間に限り入館料一般1,000円(予定)

(森美術館にも入館可能。その他の時間帯は通常通り一般1,500円)

■Art For Life 「トークイベント324」(仮)

震災直後からアート、デザイン、建築等の関係者によって立ち上がった様々な被災者支援プログラムの相互協力や交流、あるいはその紹介のプラットフォームとして誕生したコミュニティーサイト「Art For Life」。サイト開設の1周年をひとつの区切りとして、参加者が取り組んできた成果の集大成を発表し、語り合うトークイベントです。

■ショップ、カフェ、レストラン、森アーツセンターギャラリー、ミュージアムショップの営業/開館時間延長

六本木ヒルズ 一般の方からのお問い合わせ先

TEL: 03-6406-6000(インフォメーションセンター) <http://www.roppongihills.com>

◆森美術館プログラム

3月24日(土)10:00～翌朝6:00まではオールナイトで開館致します。
深夜の美術館を体験したい方は森美術館へ。

《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■オールナイト開館

3月24日(土)10:00～25日(日)6:00まで開館時間延長
3月24日(土)24:00～25日(日)6:00までの時間に限り一般入館料1,000円(予定)
(東京シティビューにも入館可能。その他の時間帯は通常通り一般1,500円)

■展覧会担当キュレーターおよびスタッフによるギャラリートーク

森美術館スタッフが、開催中の「イ・ブル展:私からあなたへ、私たちだけに」の作品解説を行います。

- ・日時: 3月24日(土)20:00～21:00、0:30～1:30
※定員15名、予約不要、先着順
- ・場所: 森美術館展示室内(森タワー53階)



リンダ・チハロヴァー
《現象風景》2011年

■ビデオアート上映「アナザーワールド」

「六本木アートナイト2012」のために集めた、各国のアーティスト7名によるユニークな映像作品を上映。トリッキーで幻想的な映像が、夜中のヒルズに集う人々を「もうひとつの世界」に誘います。

- ・日時: 3月24日(土)10:00～25日(日)18:00まで断続的に上映
- ・場所: 森美術館 ギャラリー1(森タワー53階)、ヒルズビジョン
- ・参加作家: リンダ・チハロヴァー、奥村雄樹、トロマラマ、ジェイ・リー、アントニー・リッツィ、ヨハンナ・ライヒ、ウッドペッカー

■ホー・ツーニエン5作品連続上映(仮)

「MAM プロジェクト016:ホー・ツーニエン」に出展されていない作品を含むホーの5作品を大スクリーンで特別上映します。

- 日時: 3月24日(土)10:00～25日(日)18:00まで断続的に上映
※回により、担当キュレーターが解説を行います。
- ・場所: 森美術館 ギャラリー1(森タワー53階)
- ・上映作品: 《ニュートン》NEWTON 2009
《ボヘミアン・ラプソディ・プロジェクト》The Bohemian Rhapsody Project 2006
《H ハッピー・ロボット》H the Happy Robot 2009
《反射光》Reflections 2007
《ウタマ - 我こそは歴史なり》Utama - Every Name in History is I 2003

《期間中の展覧会》

「イ・ブル展:私からあなたへ、私たちだけに」

イ・ブル(1964年生まれ)は、1990年代、ニューヨーク近代美術館やリヨン・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレなど数々の国際的な美術館での展覧会や国際展に参加し、以降、現代アジアを代表する韓国人アーティストとして国際的な評価を確かなものにしてきました。本展は、自身の身体を使った初期のパフォーマンスから、人間を超越した存在としての彫刻シリーズ、建築や都市模型をイメージさせる近年の作品まで、究極の身体、理想の社会を追い求めてきたイ・ブルの思考プロセスを、新作を含む代表作約45点を通して一望する世界初の大規模個展です。

- ・開催期間: 2月4日(土)～5月27日(日)
- ・開館時間: 10:00～22:00
※火曜日は、10:00～17:00
※入館は閉館時間の30分前まで
※会期中無休(ただし、3月20日(火・祝)は22:00まで、
3月24日(土)は「六本木アートナイト2012」開催に伴い翌朝6:00まで開館
- ・場所: 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53F)
- ・入館料: 一般1,500円、学生(高校・大学生)1,000円、子供(4歳～中学生)500円
※3月24日(土)24:00～25日(日)6:00までの時間に限り入館料1,000円



イ・ブル
《ブルーノ・タウトに倣って
(物事の甘きを自覚せよ)》
2007年

◎同時開催:「MAMプロジェクト016:ホー・ツーニエン」

シンガポール在住のホー・ツーニエンの新作ビデオ・サウンド・インスタレーション《未知なる雲》と映像作品2点を展示します。

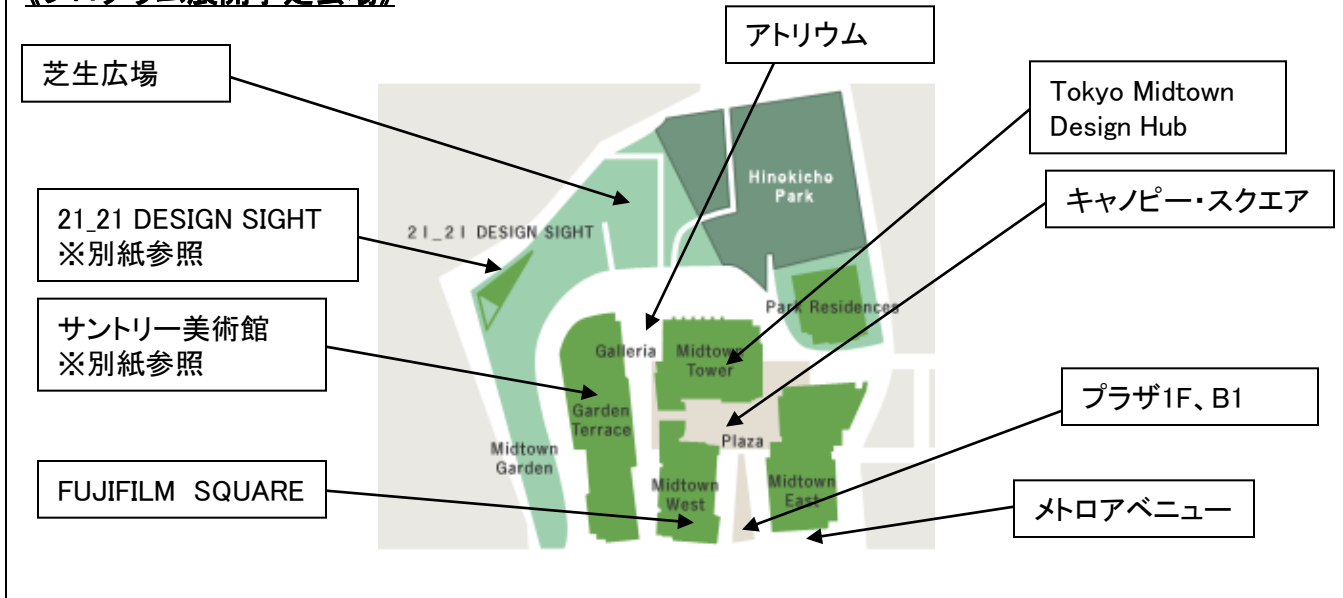
森美術館 一般の方からのお問い合わせ先

TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.mori.art.museum>

◆東京ミッドタウンプログラム

東京ミッドタウンでは、街のいたるところで朝まで様々なイベントを開催します。
若手アーティストを発掘したい方は東京ミッドタウンへ。インスタレーション、彫刻、映像、アニメーションなど、
世界に羽ばたく才能が、アートナイトの夜を盛り上げます。

《プログラム展開予定会場》



《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

※写真はイメージです

■Mid-Space

遊び心のある大人たちが、アートを愉しむ一夜。
新たな取り組みをみせるアーティストやクリエイターが集結します。

- ・日時: 3月24日(土)18:00～25日(日)5:30 (予定)
- ・場所: アトリウム
- ・入場料: 無料 ※混雑の場合、入場制限を行う場合があります。

■Tokyo Midtown Kids Art Program

親子で楽しめるアートのワークショップを実施。みんなでひとつの作品を
創り上げていきます。

- ・日時: 3月24日(土)11:00～17:00 (予定)
- ・場所: アトリウム
- ・参加料: 無料 ※混雑の場合、入場制限を行う場合があります。

■東京ミッドタウン5周年アート『ゆびわ記念日(仮)』

開業5周年にちなみ、5つの指輪をモチーフにしたアート作品を展示。
「六本木アートナイト2012」の夜には、照明と音による特別演出を行います。

- ・日時: 3月24日(土)～5月6日(日)
- ・場所: プラザ1F

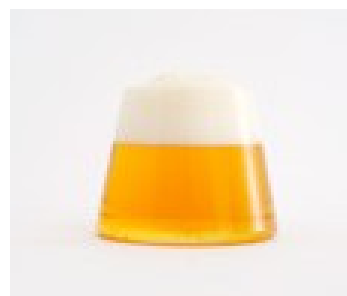
■ストリートミュージアム

Tokyo Midtown Awardアートコンペ歴代受賞作家全15組が、六本木アート
ナイトで作品を発表します。

- ・日時: 3月24日(土)10:00～29:00、25(日)10:00～18:00
- ・アーティスト: 山本麻璃絵 小松宏誠 福本歩 他
- ・場所: プラザB1Fメトロアベニュー 他

■ショップ・カフェ・レストランの特別サービス

一部店舗で営業時間の延長や、お得なサービスをご提供します。スペイン・バル
「Ba-tsu」では、「富士山グラス」でビールをお召しあがりいただけます。



東京ミッドタウン 一般の方からのお問い合わせ先

TEL:03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター) <http://www.tokyo-midtown.com>

◆サントリー美術館プログラム

日本の伝統的な美を楽しみたいならサントリー美術館へ。
津軽三味線のライブの他に、展覧会の解説などを行います。

《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■3月24日(土)に限り、23時まで開館延長(最終入館22時)
shop × cafeも23:00まで営業(22時半L.O.)

■3月24日(土)、25日(日)は「六本木アートナイト2012」割引で、
一般および大学・高校生は、入館料一律500円

■津軽三味線ライブ「あべや 六本木アートナイトスペシャル！」(仮)
津軽三味線民俗音楽ユニット「あべや」と民謡歌手・根本麻耶による邦楽ライブ。
若手実力派の熱演をお楽しみいただける、特別なライブです。

- ・日時: 3月24日(土) 13:00~13:45
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・出演: あべや[阿部金三郎、阿部銀三郎](津軽三味線)、
根本麻耶(唄)
- ・参加料: 無料(別途要入館料)
※事前申込不要、全席自由、当日10時整理券配布(先着80名)



■見どころトーク

学芸員による展示解説です。

- ・日時: 3月24日(土) 19:00~19:40
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・参加料: 参加無料(別途要入館料)
※事前申込不要

■アートナイトフレンドリートーク

子供から大人まで楽しめるやさしい展示解説を実施します。

- ・日時: 3月25日(日) 11:00~11:20 / 14:00~14:20
- ・場所: サントリー美術館6階ホール
- ・参加料: 参加無料(別途要入館料)
※事前申込不要

《期間中の展覧会》

「大阪市立東洋陶磁美術館コレクション 悠久の光彩 東洋陶磁の美」展 時代を超えて人々を魅了した 東洋陶磁の魅力

質・量ともに国内随一を誇る大阪市立東洋陶磁美術館より、国宝2件、重要文化財13件のすべてを含む東洋陶磁の名品約140件を厳選してご紹介します。



国宝 飛青磁花生
元時代 13-14世紀

- ・開催期間: 1月28日(土)~4月1日(日)
- ・開館時間: 10:00~18:00 ※金、土は10:00~20:00 ※最終入館は30分前まで
※2月11日(土・祝)、3月19日(月)は20:00まで開館
※3月24日(土)は23:00まで開館
※shop × cafeは無休 11:00~20:00
- ・休館日: 火曜日、3月21日(水) ※3月20日(火・祝)は開館
- ・入館料: 一般1,000円、大学・高校生800円、中学生以下無料
※3月24日(土)、25日(日)は、500円



国宝 油滴天目茶碗
南宋時代 12-13世紀



五彩牡丹文盤
(「大明萬曆年製」銘)
明時代 万曆(1573-1620)



鉄砂虎鷺文壺
朝鮮時代 17世紀

※作品キャプションは全て「大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション) 写真撮影:三好 和義」

サントリー美術館 一般の方からのお問い合わせ先

TEL:03-3479-8600 <http://suntory.jp/SMA/>

◆21_21 DESIGN SIGHTプログラム

21_21 DESIGN SIGHTは、通常20時閉館のところを、22時まで開館延長いたします。
デザインや写真に興味がある方におすすめです。

《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■3月24日(土)に限り、22時まで開館延長
(最終入場は21:30まで)

■坂田栄一郎x亀井武彦トーク「サプライズ・オブ・ニューヨーク」

写真家の坂田栄一郎が、ニューヨークで出会って以来交流の深いアーティストの亀井武彦(雅号・玄亀阿仁磨)とともに、驚きからみちびかれる創造やその精神的なエネルギーなどについて語り合います。

- ・日時: 3月24日(土)14:00~15:30
- ・場所: 21_21 DESIGN SIGHT 1Fロビー
- ・参加料: 無料(別途要入館料)

■マイケル・クロフォード来日トーク

「『ニューヨーカー』誌カートゥーニストとしての30年」

本展で上映中のアニメーションのためにドローイングを描きおろしたマイケル・クロフォードがニューヨークより来日し、カートゥーニスト(風刺画家)としての自身の仕事や展示作品の制作プロセスなどを紹介します。

- ・日時: 3月24日(土)18:00~19:30
- ・場所: 21_21 DESIGN SIGHT 1Fロビー
- ・参加料: 無料(別途要入館料) ※逐次通訳あり

■夜のギャラリーツアー

展覧会の企画制作に携わったスタッフによるギャラリーツアー。

- ・日時: 3月24日(土)20:00~21:00
- ・参加料: 無料(別途要入館料)



展覧会ポスター
(写真上)「Poppy: Glowing Embers」、
ニューヨーク、1968年
(下)「Flower Pleats (Issey Miyake Design)」、
ニューヨーク、1990年
Photographs copyright by The Irving Penn Foundation

《期間中の展覧会》

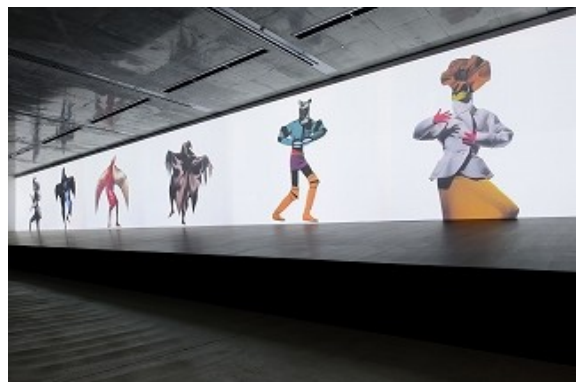
「アーヴィング・ペンと三宅一生 Visual Dialogue」展 (展覧会ディレクター: 北村みどり)

20世紀を代表する伝説的写真家アーヴィング・ペンと世界的デザイナー三宅一生の13年間にわたる「Visual Dialogue (視覚的対話)」から生まれた表現を集大成。二人の創造のプロセスを示すアニメーション、写真の大画面投影やポスター作品などから、新たな表現を生み出す想像力と協働のありかたについて考えます。

- ・開催期間: 開催中 ~ 2012年4月8日(日)
- ・休館日: 火曜日(3月20日は開館)
- ・開館時間: 11:00~20:00(入場は19:30まで)
※3月24日(土)は22:00まで
- ・入館料: 一般:1,000円、大学生:800円、中高生:500円、小学生以下無料、15名以上は各料金から200円割引



マイケル・クロフォードによる
「Irving Penn and Issey Miyake: Visual Dialogue」
のためのドローイングより
Copyright © 2010 by Michael Crawford



会場風景 Photo by Masaya Yoshimura

◆国立新美術館プログラム

2012年1月21日に開館5周年を迎えた国立新美術館。

3月24日は開催中の展覧会「野田裕示」展が入場料無料になるほか、展覧会関連のワークショップを実施します。屋外特別展示として、発泡スチロールでできた茶室も登場します。

《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■3月24日(土)は22時まで開館延長(最終入場は21時30分。通常は18時まで)

■3月24日(土)「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」展 入場無料

■屋外特別展示「茶室」

開発好明氏による、発泡スチロールでできた茶室と納屋を正面玄関付近にて屋外特別展示します。

・日時: 3月24日(土)10:00～26日(月)18:00

・場所: 国立新美術館 正面玄関付近

■アーティスト・ワークショップ

国立新美術館正面玄関付近に開発好明氏による納屋と茶室のインスタレーションが展示されます。

掛け軸に絵を描き、発泡スチロールで出来た茶室で催されるお茶会に参加してみませんか？

講師は、開発好明氏(現代美術家)、野田裕示氏の2名。

・日時: 3月24日(土)13:00～17:00

・場所: 国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

・参加費: 1000円 ※要事前申込み。申し込み情報は、後日、国立新美術館のHPに掲載。

■TOKYO ANIMA! 2012春

「アタマの中は、フィルムに撮れない。だから人はアニメーションを作る。」

若手アニメーション作家の近作・新作を一挙上映。

・日時: 3月24日(土)19:00～21:00

・場所: 国立新美術館 3F講堂

その他、スペシャルパフォーマンスも予定しています。

《期間中の展覧会》

「国立新美術館開館5周年 野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」

絵画の新しい可能性を求め、様々な模索を重ねてきた野田裕示氏(のだ・ひろし 1952年～)の30年に及ぶ取り組みを、新作を含む約140点の作品から概観します。箱状の造形から始まり、支持体を袋状に覆う独自のスタイル、そしてカンヴァスを縫い合わせ折り返し重ねる手法を経て、平滑な下地に独特の形象が自在に描かれる現在の作品までを見通すことができる、またとない機会です。

・開催期間: 1月18日(水)～4月2日(月)

・休館日: 火曜日

※3月20日(火)は開館、翌21日(水)は休館

・開館時間: 10:00～18:00、毎週金曜日は～20:00、3月24日(土)は～22:00

※いずれも入場は閉館の30分前まで

・入場料: 当日券: 一般1000円、大学生500円、高校生以下無料

※3月24日(土)に限り入場無料



《WORK 1536》
2003年
181.8×259.1 cm

国立新美術館 一般の方からのお問い合わせ先

TEL: 03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.nact.jp/>

◆六本木商店街プログラム

六本木アートナイトで街を彩るフラッグのコンテストと、街の人々が撮った六本木の素顔の写真のコンテストは今年で共に4回目です。

入選作品の写真は展示され、フラッグはアート作品と共に街を彩ります。

《六本木アートナイト2012 特別プログラム》

■六本木デザイナーズフラッグコンテスト2012

アート&デザインのまちづくりプロジェクトの一環として4回目を迎えるデザイナーズフラッグコンテスト2012のテーマは「笑顔」です。入選した作品を街路灯フラッグとして一挙に掲出し、デザイナーの皆さんの作品発表の場といたします。

日時 3月25日(日)～5月6日(日)(予定)

場所 六本木商店街、六本木材木町商店会、芋洗坂地区街路灯、合計138本

■第4回六本木フォトコンテスト

「あなたが見つけた六本木の素顔を様々な角度から自由に切り取って下さい」をキャッチコピーとした第4回六本木フォトコンテスト。多数の応募を頂き、その中から入選された作品の展示を行います。「様々な六本木」をどうぞご期待下さい。

日時 3月16日(金)～

場所 東京ミッドタウン内 フジフィルムスクエア



第3回の実施風景画像



◆六本木アートナイト2012 深夜特別対応

六本木アートナイトでは、深夜の時間帯も、安心してイベントに参加していただけるよう、周辺地域の店舗が多数深夜営業を実施します。※情報はウェブに随時アップいたします。

また、3月24日(土)の深夜から25日(日)の早朝にかけて、六本木と各主要ターミナル(渋谷、新宿、池袋、品川、東京、上野、秋葉原)を結ぶ無料シャトルバスを終夜運行いたします。

◆六本木アートナイト2012 開催概要

- 正式名称: 六本木アートナイト2012
基本理念: 『六本木アートナイト』は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を作り出します。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街作りの先駆的なモデルを創出します。
東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。
- 日時: 2012年(平成24年)3月24日(土)10:00 ~ 3月25日(日)18:00
◎コアタイム 3月24日(土)17:56【日没】 ~ 3月25日(日)5:38【日の出】
※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- 開催場所: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料: 無料(但し、一部の美術館企画展およびプログラムは有料)
- 主催: 東京都
東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
六本木アートナイト実行委員会
【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合】(五十音順)
- 公式ウェブサイト: <http://www.roppongiartnight.com/>
一般問合わせ先: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 年中無休 8:00~22:00

東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

過去の様子



©2009 六本木アートナイト実行委員会

体長7.2mのヤノベケンジによる機械彫刻《ジャイアント・トラヤン》が六本木ヒルズアリーナに出現しました。



©2010 六本木アートナイト実行委員会

椿昇が、新作《ビフォア・フラワー》を発表。高さ約13メートルの作品が登場しました。

報道関係の皆様のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 プロモーション・PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当: 山下、澤井、山本、今井

TEL: 03-6894-3200 / FAX: 03-5413-3050 / MAIL: r-artnight@ssu.co.jp